

令和7年度 茨田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

全国学力学習状況調査

【成果と課題】

(国語)全体として対大阪府平均と同ポイント、対全国平均より2.3ポイント低い結果となった。知識及び技能の観点では「言葉の特徴や使い方に関する事項」において対大阪府を下回っている。また思考力、判断力、表現力等の観点では「話すこと・聞くこと」、「書くこと」では対大阪府より少し下回っているが、「読むこと」では上回っている状況となった。また、無解答率が全体を通して低かったことは、日ごろからの指導の成果だといえる。

(数学)茨田中学校の3年数学平均正答率は45.0%で、大阪府平均に比べ2.0ポイントであった。無解答率は全体を通して低かったことで、問題に取り組もうとする姿勢は見られたが、課題としては、「データの活用」の領域が、大幅に大阪府平均に届かず、また「知識・技能」を問われる問題の正答率が低かった。

問題別の結果を見ると、「1から9までの数の中から素数をすべて選ぶ」問題の正答率が大阪府平均と比べ10ポイントも低く、数学における言葉の意味、本質の部分の理解度が低いことが分かった。対して、「図形」分野の証明に関する問題で、大阪府平均に対し、正答率が高い問題があり、「思考・判断・表現」の観点を問う問題の理解ができていたこともわかった。日頃の授業で、教え合いを行い、「自らの言葉で説明をする力」を養うことができた結果だと考える。

正答数分布グラフを見ると、正答数が0問から4問までの層の割合が高く、いわゆる「数学が苦手」な層が高いことがよくわかる。この層に向けた、レベル別の対策が必要であると実感した。

(理科)今年度の理科の出題方式が、パソコンを使用したCBT方式に変更された。そのため、生徒一人ひとりの調査問題の難易度は統一されているが、出題内容が一人ひとり異なる中での正答率、スコアを比較する。本校の平均正答率は、【1】において2.9/6問中(大阪府2.7、全国2.9)、【2】～【9】において2.1/4(大阪府2.2、全国2.3)と全国平均、大阪府平均と比較してもおおそ平均的となっている。また、それを集計したIRTスコア集計は、パーセンタイル値(全体に対する順位)の90%の割合が本校661(大阪府640、全国652)、75%が本校572(大阪府560、全国572)となり全国平均より少し高い508(大阪府487、全国503)というスコアであった。

問題別での正答率を全国平均と比較し、3ポイント以上差があった問題は【1】(5):知識4ポイント減【3】(4):思考4ポイント減【6】(4):思考8ポイント減であり、全10問中3問であった。それ以外は平均、平均以上の正答率となっていた。分野別でみると生物、物理、化学で1問ずつとなっていた。

今回の調査より、出題数が1時間のテストで10題の中で、「知識技能」・「思考」のどちらも、正答率が高い問題もあれば、低い問題もあったため、幅広く既習事項を定着させる必要があると考えられる。

【今後に向けて】(国語)知識及び技能の観点において、言葉の特徴や使い方などの基本的な知識を再確認する時間が必要だと考える。そのためにICT教材も効果的に活用し、生徒それぞれのペースで自身の知識を再確認、復習できるように課題を設定する必要がある。また、思考力、判断力、表現力等の観点において、特に「書くこと」に力をいれた指導をしていきたい。具体的には形式を工夫しながら、生徒たちの「書くこと」に対する抵抗感を減らしていきたい。自分の意見をしっかりと持ち、他者の意見を知るなかでさらに深めていけるような、主体的・協同的な学びを目指していきたい。

(数学)「知識・技能」の観点において、単純な計算問題や、言葉の意味、その使い方などの基本的な知識を再確認する時間が必要だと考える。授業内で、何度も確認をする時間を設けようとする。そのためにICT教材も効果的に活用し、生徒それぞれのペースで自身の知識を再確認、復習できるように課題を設定する必要がある。全体的に、「データの活用」の分野に課題があるので、より丁寧に時間をかけて学習に取り組ませていく。また、「学力に課題がある」グループの底上げとして、問題演習時にレベル別の問題を用意したり、習熟度別少人数授業を行い、生徒の実状に応じた指導で基礎学力の向上を図る。

(理科)今年度の3年生については、学習意欲が高い生徒が多い中で、得点力に結びつかない生徒が一定数いる現状がある。これは、調査結果のIRTバンド(5段階)ある中で、バンド5の生徒が本校8.6%(全国6.2)、バンド4:本校17.1%(全国20.3)、バンド2:本校31.5%(全国27.3)、バンド1:本校1.4%(全国4.2)ということからもわかる。バンド2にあたる生徒が、得点力を上げるためにも広く1・2年生の基礎的な復習を行う必要がある。

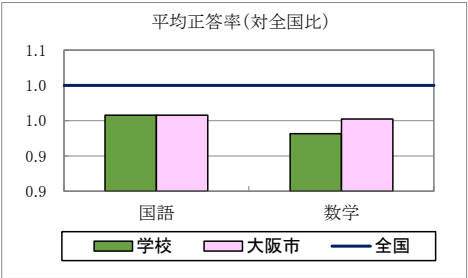
また、近年の本校の生徒の実態では、実験や観察を実際に行った内容への理解や正答率の高さがある。今後も引き続き実験や観察をたくさん行い、そこから課題に対して思考表現する場面を適切に設定することが重要であり、全学年を通して実施できるように理科教員の連携を密にはかれるようにしていく。

令和7年度 茨田中学校のあゆみ
 ―結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について―

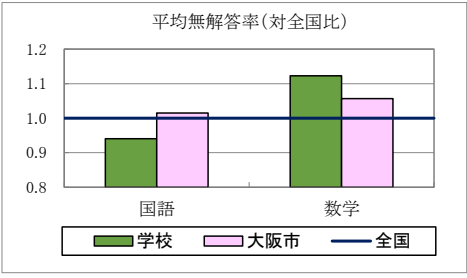
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

| | 平均正答率(%) | |
|-----|----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 52 | 45 |
| 大阪市 | 52 | 46 |
| 全国 | 54.3 | 48.3 |

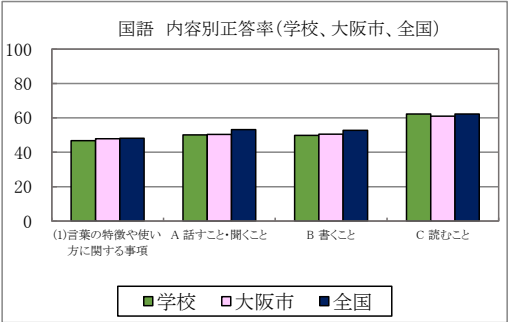


| | 平均無解答率(%) | |
|-----|-----------|------|
| | 国語 | 数学 |
| 学校 | 6.3 | 11.9 |
| 大阪市 | 6.8 | 11.2 |
| 全国 | 6.7 | 10.6 |



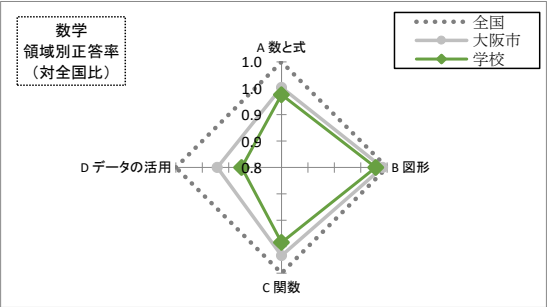
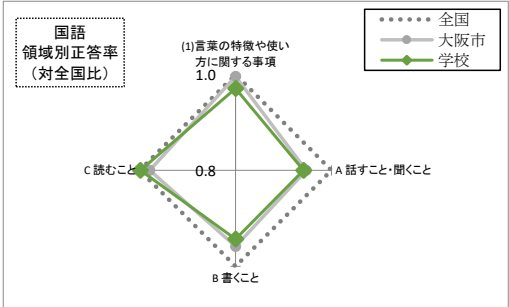
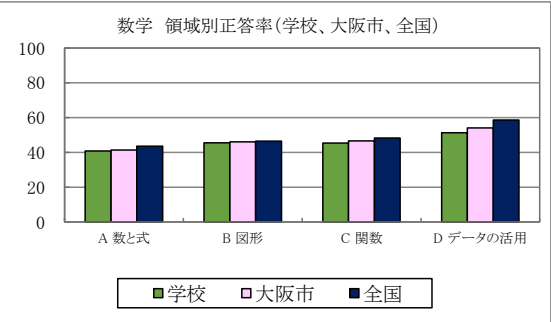
【 国 語 】

| 学習指導要領の内容 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い 方に関する事項 | 2 | 46.7 | 47.9 | 48.1 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 0 | | | |
| (3)我が国の言語文化 に関する事項 | 0 | | | |
| A 話すこと・聞くこと | 4 | 50.1 | 50.4 | 53.2 |
| B 書くこと | 5 | 49.8 | 50.6 | 52.8 |
| C 読むこと | 3 | 62.2 | 61.0 | 62.3 |



【 数 学 】

| 学習指導要領の 領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と式 | 5 | 40.8 | 41.4 | 43.5 |
| B 図形 | 4 | 45.5 | 46.1 | 46.5 |
| C 関数 | 3 | 45.4 | 46.6 | 48.2 |
| D データの活用 | 3 | 51.3 | 54.0 | 58.6 |

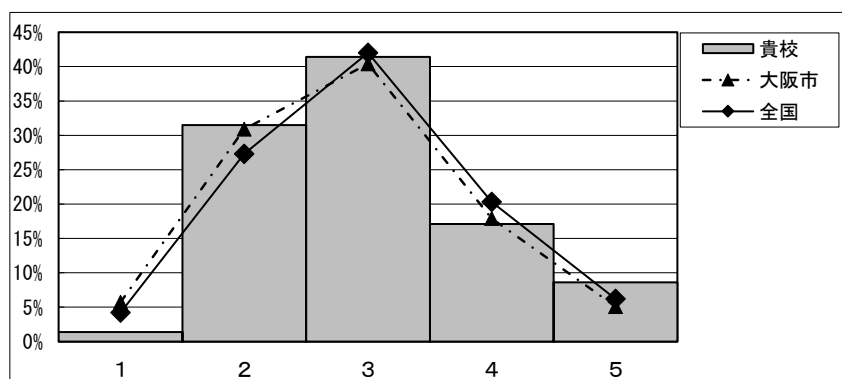
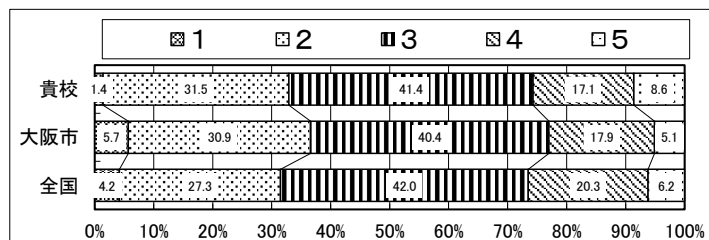


令和7年度 茨田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

| | 平均IRTスコア |
|-----|----------|
| 学校 | 508 |
| 大阪市 | 489 |
| 全国 | 503 |



令和7年度 茨田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

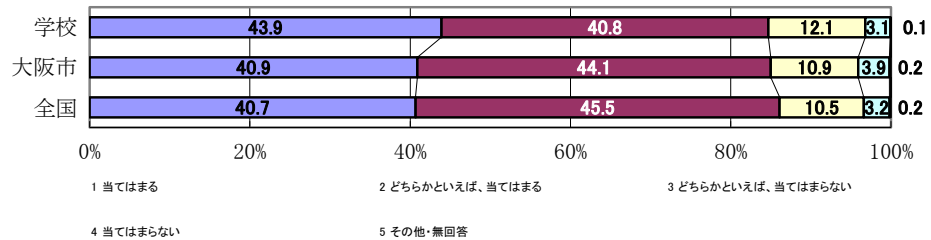
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

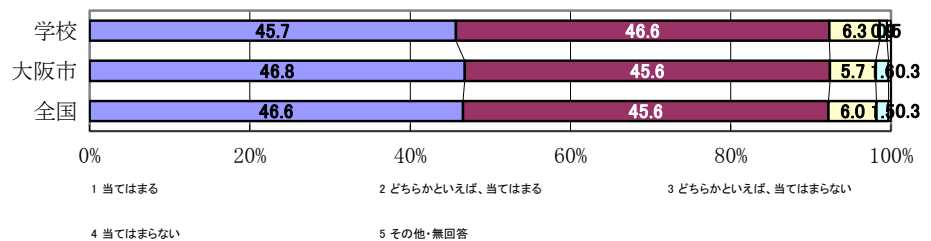
5

自分には、よいところがあると思いますか



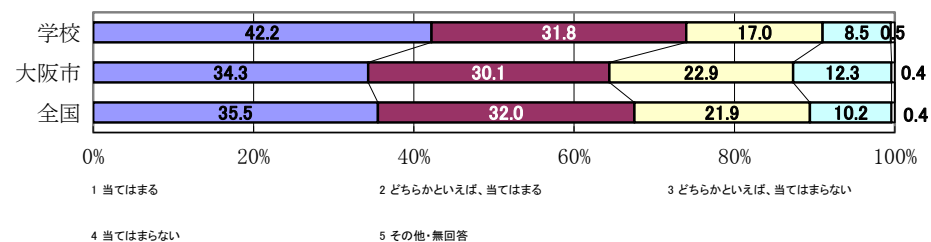
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



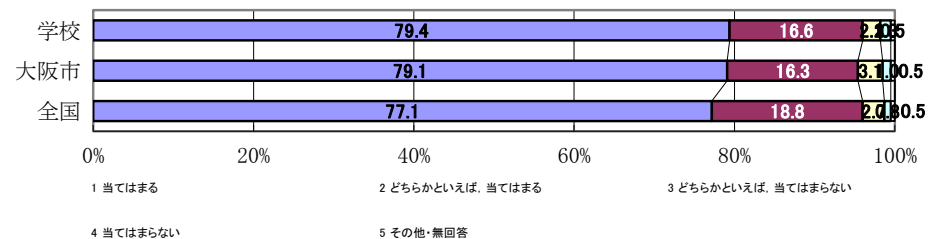
7

将来の夢や目標を持っていますか



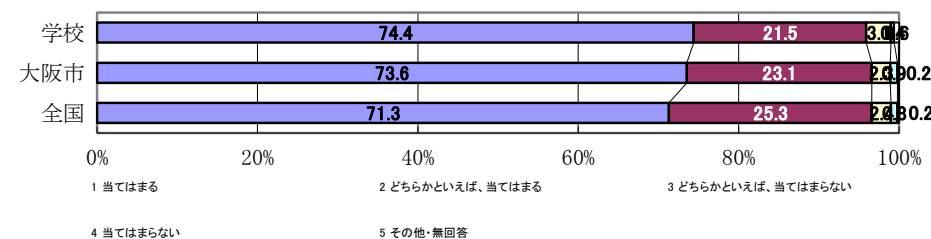
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



令和7年度 茨田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

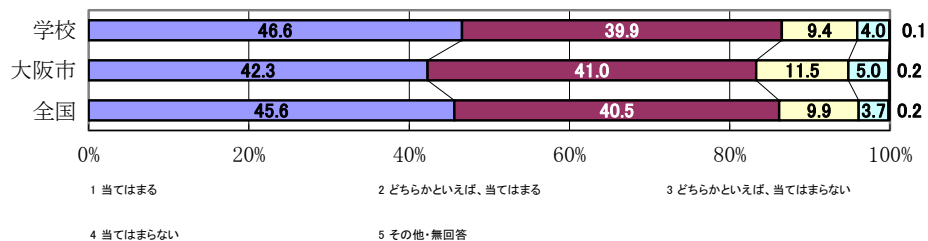
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

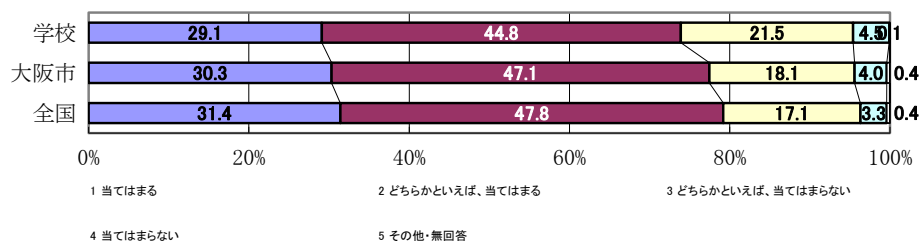
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



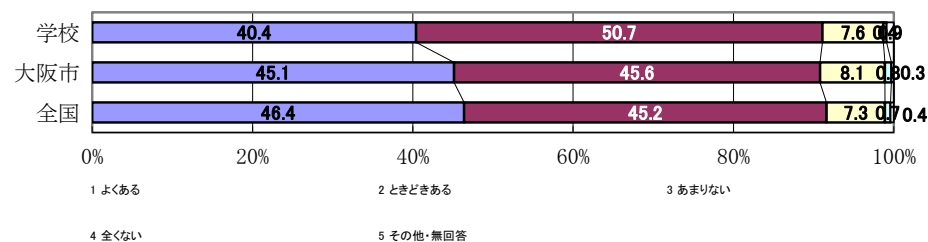
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



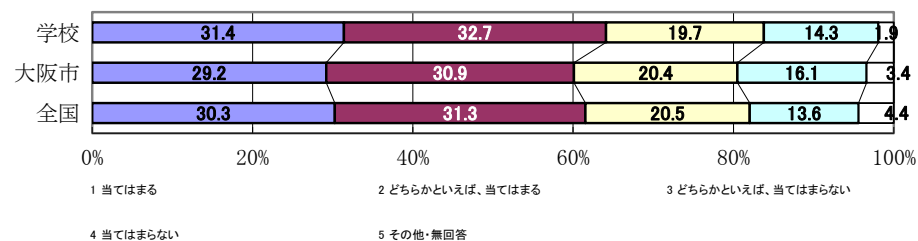
15

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



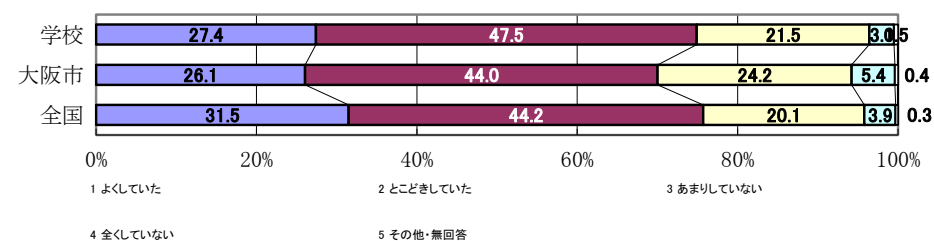
24

読書は好きですか



25

これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか



令和7年度 茨田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

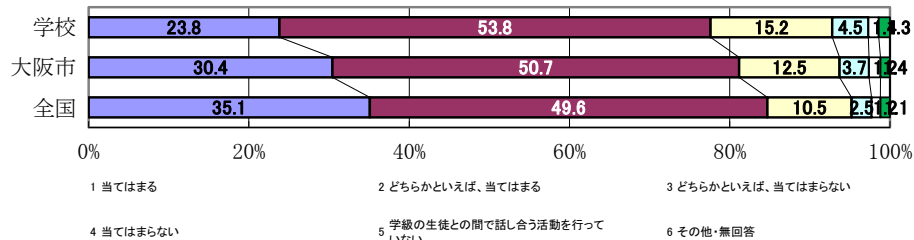
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

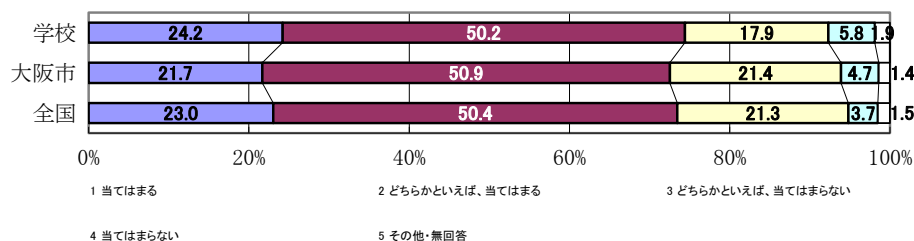
35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



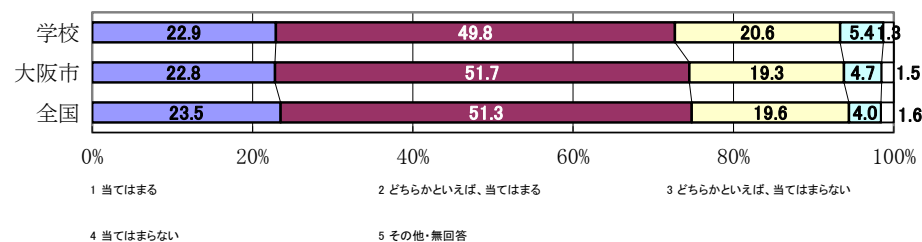
36

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



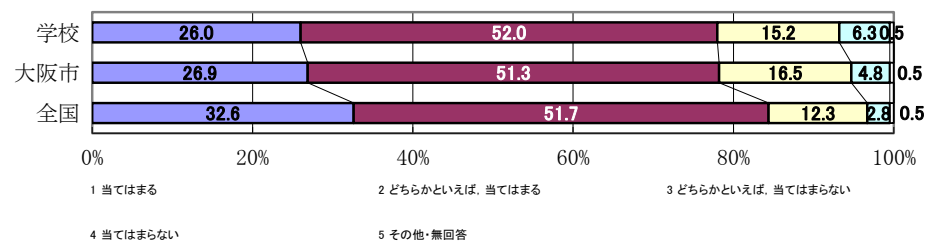
37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか



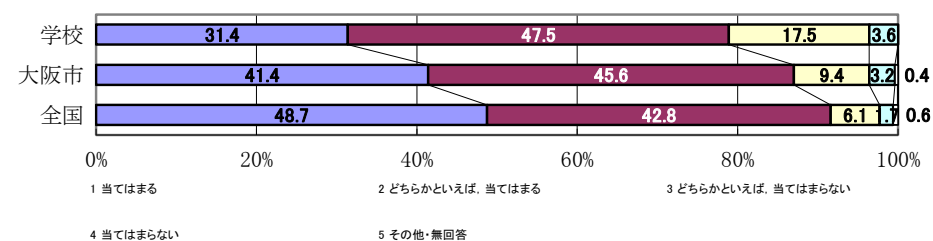
41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



43

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



令和7年度 茨田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

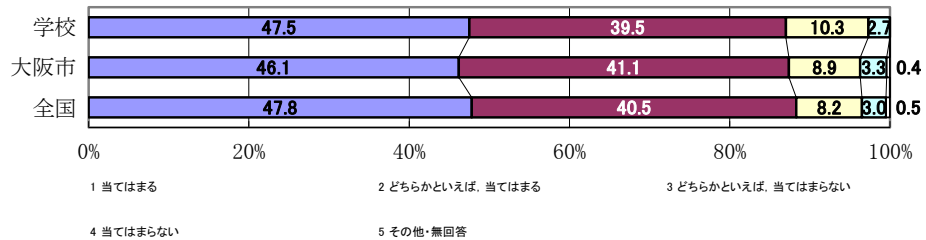
生徒質問より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

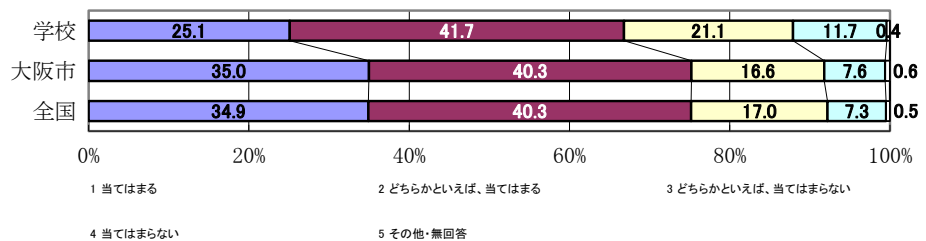
47

国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



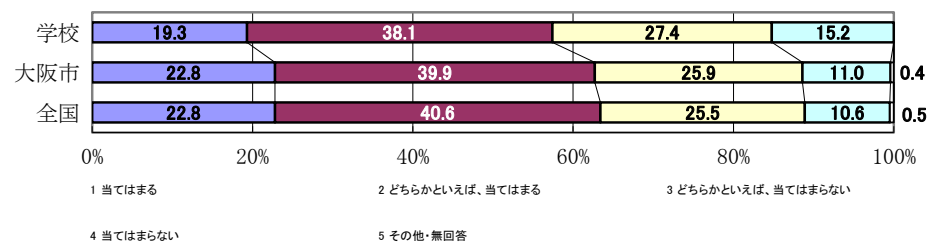
55

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



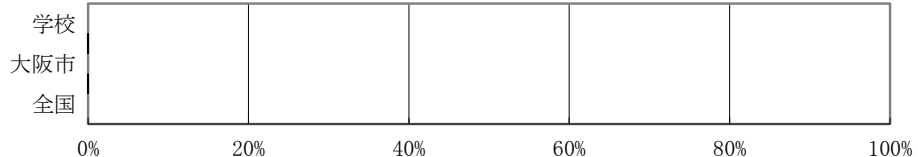
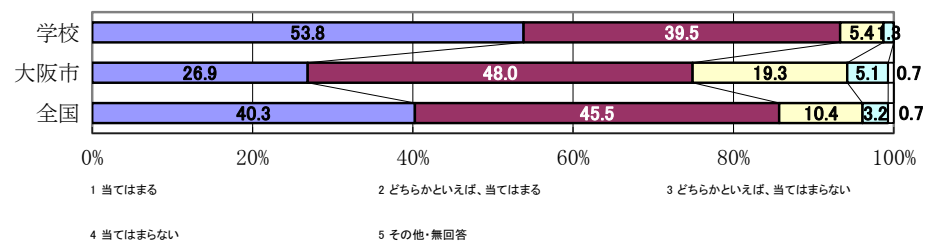
63

理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



68

理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか



令和7年度 茨田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

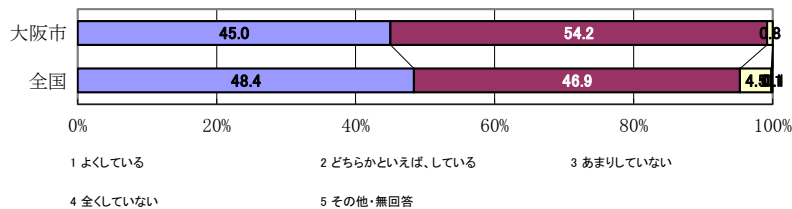
質問番号

質問事項

18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

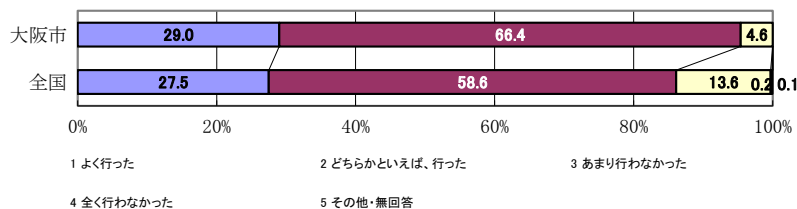
学校 「どちらかといえば、している」を選択



32

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

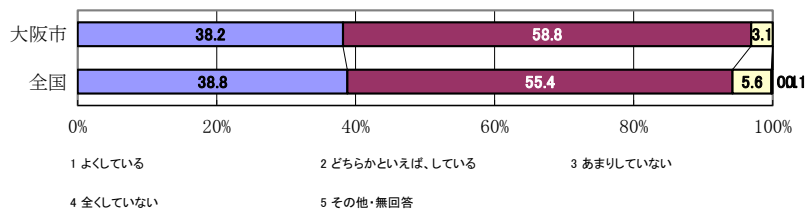
学校 「よく行った」を選択



37

調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

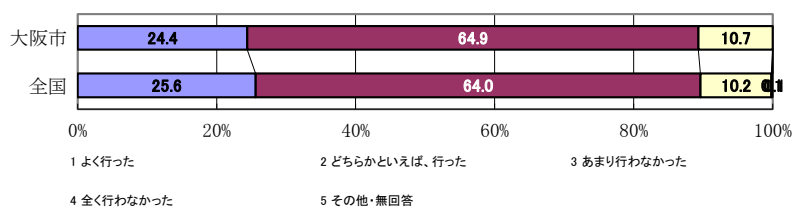
学校 「よくしている」を選択



45

調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



50

調査対象学年の生徒に対する理科の授業において、前年度までに、日常生活や社会における事象との関連を図った授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

